

今江まさひこ

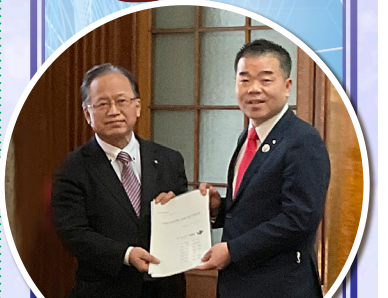
ご意見をお寄せください

事務所

〒523-0837
近江八幡市大杉町30番地1
TEL (0748)36-5788
FAX (0748)36-5794
http://www.m-imaie.com



すべての人に居場所と 出番のある共生社会を



三日月知事に令和5年度
の政策提案をしました。

戦後、私たちは日本国憲法の三原則である「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」のもとに平和で一人一人の国民を大切に
する国を目指して努力してきました。しかし、新型コロナウイルス
の感染拡大が続き、またウクライナ戦争などの影響で物価高騰は
かつてないほど県民生活を圧迫しています。このような状況下にお
いて格差社会はますます広がり、子どもの貧困問題も深刻化する
中で虐待事例も後を絶ちません。

こうした中で私は「人の力」を活かし「いのち」を守る「草の根自
治の滋賀」を発展させていきます。そして、すべての人に居場所と
出番がある共生社会の実現のため、三日月県政と連携しながら
「チームしが」とともに7つの視点で政策を進めていきます。

1 子どもの生きる力を育み、 若者や女性が輝く社会の実現

● 保育所待機児童の解消、35人以下学級のさらなる推進、児童虐
待の防止、いじめ対策、通学路の安全対策、ヤングケラーへの支
援、学童保育の充実、周産期医療の充実、私学振興など子育て
環境日本一の滋賀をめざします。

● 仕事と家庭の両立を可能とするワークライフバランスを確立する
とともに、女性の活躍の徹底支援をして子育て環境を整えます。

● 子ども医療費の無料化拡充や高校授業料無償化の所得制限撤
廃、給付型奨学金の拡充、学校給食の無償化など子育てや教育
の負担を軽減します。



2 すべての人に居場所と出番があり、最期まで 健康で充実した人生を送れる社会の実現

● 新型コロナウイルス対策として医療療養体制や検査体制の強
化をし、影響を受けている中小企業や個人事業主の支援と雇
用の確保を進めます。

● 原油価格・物価高騰対策の充実を図ります。

● がん対策や認知症対策の充実、介護支援や在宅看取りの推進
などにより県民のいのちと健康を守ります。

● 医療・介護・福祉・保育などに関わる人材を育成するとともに、
処遇の改善を進めます。

● 障がいのある人もない人も尊重され、すべての人に居場所と出
番のある共生社会を実現するため、発達障がい児者への支援、
特別支援学校の環境改善、盲ろう者への支援制度の拡充、難病
対策などを進めます。

● 滋賀県手話言語条例の制定をめざします。



3 滋賀の強みを生かし、新たな強みを 生み出す滋賀発の産業と雇用の創造

● 中小企業の活性化の推進に関する条例を活用しながら、モノづくり
産業を中心に中小企業や小規模事業所をきめ細かく支援します。

● モノづくり県にふさわしい高等専門学校を整備を進めます。

● 世界農業遺産、ビワイチ、日本遺産等を活用した観光振興と公
共交通条例の制定・交通ネットワークの整備を促進します。

● 環境ごだわり米をはじめ滋賀県の農産物のブランド化の推進・
オーガニック農業のさらなる推進や農業経営安定のための戸
別所得補償制度の復活をめざします。

● 滋賀県の締結する契約に関する条例(いわゆる公契約条例)に
より公共サービスに従事する人の働く環境を改善するととも
に「働き方改革」を一層推進します。



4 琵琶湖をはじめとする恵み豊かな環境と いのちの共感を育む社会の実現

● 琵琶湖保全再生法の活用をはかり、琵琶湖の水質保全や水草、
外来生物の除去を積極的に進めるとともに琵琶湖の漁業を守
り育てます。

5 人や「もの」が行き交う活力ある 県土づくりと安全・安心社会の実現

● ダムだけに頼らない流域治水政策を充実し、これまでの
風水害などを教訓にして日野川をはじめとする河川整
備を進めます。

● 県民の利便性向上や安全のため高規格道路や県道整備
を推進します。

● 市町と連携しながら消防団や地域防災組
織の支援を進めます。

● 特殊詐欺対策ならびにサーバーセキュリティ
対策を推進します。



6 「文化とスポーツの力」を活かした 元氣な滋賀の創造

● 地域の文化財保護やオール・ブリュットの総合的な振
興、(仮称)新琵琶湖文化館の整備により「美のしが」を
推進します。

● 2025年国スポ・障スポの開催に向け
た競技力向上と機運醸成を図ります。

● スポーツ指導者や部活の指導者の養
成・研修を進めます。

● 彦根城の世界遺産登録の推進をします。

7 「新しい公共」の推進と 財政健全化、議会改革

● NPOや住民組織への支援により
「新しい公共」を推進するとともに、県庁力を最大化す
るためにDXへの対応の加速化を進めます。

● 雇用拡大による税収増や行政の効率化により財政の健
全化をめざします。

● 県議会と住民の皆さんとの関係強化や県議会の政策形
成機能を向上させるため、県民参画委員会などの拡大
や議員提案による条例制定を一層進めていきます。



チームしが代表 かだ
由紀子参議院議員と
ともにチームしが県
議団が進める政策に
ついて決めました。



チームしが
力をひとつに!

今江まさひこのプロフィール

1954年6月29日生まれ(満68歳)
市立金田小学校、市立南中学校を経て県立彦根東高
等学校、同志社大学法学部卒業後、近江八幡市職員
となり、議会事務局次長、秘書広報課長を歴任。
2007年4月滋賀県議会議員に初当選。(現在4期目)
現在は、チームしが県議団代表、立憲民主党滋賀県
連幹事長、連合滋賀議員団会議常任顧問を務める。